

北海道大学消化器外科Ⅱ

西暦	教室の出来事	その他
1923	北海道帝国大学 医学部に外科学第二講座設置される。	
1924	外科学第二講座（以下、第二外科）を開設。 初代 柳壯一教授が着任し、診療を開始する。	
1925	病棟・研究室が完成し、第二外科教室の本格的なスタートとなる。 熊埜御堂進助教授就任。	
1926	北大医学部第一期生 奥田義正ら5名が第二外科に入局。	
1928	沢田平十郎助教授を中心に「気管支喘息の外科」の研究を開始。	
1934	奥田助教授を中心に「創傷治癒と温泉療法」・「低温の生体におよぼす影響」の研究を開始。	
1944	柳壯一教授開講20周年記念祝賀会を開催。	
1944	柳壯一教授著「外科学汎論」完成する。	
1947	北海道帝国大学は北海道大学と改正された。 奥田義正助教授が第三外科教授として転任。 高山担三講師が第二外科助教授に昇任。	「手術侵襲の生体におよぼす影響」の研究を開始。
1949	第49回日本外科学会総会が柳壯一教授会長のもと札幌で開催。	第二外科開講二十五周年記念式典を豊平館で開催。
1951	柳壯一教授が退官され、第二代 奥田義正教授が就任。	
1953	渡辺正二講師が第二外科助教授に昇任。	
1954	渡辺正二助教授を中心に『外科的可吸収体内挿入物－OMS膜－に関する研究』・「人工冬眠下手術」の研究を開始。	
1959	青木講師を中心に「心臓疾患」、鮫島講師を中心に「急性肺炎」・「癌」の実験研究を開始。	
1961	奥田教授が退官。 第三代教授 杉江三郎教授就任。	
1961	第二外科同門会発足。 教室の診療研究体制が「低体温・血管班」渡辺助教授・「人工心肺・心臓班」青木講師・「門亢症・消化器班」鮫島講師の3グループとなった。	
1962	超低体温麻酔による教室第1例目の開心手術（8歳女児 VSD+PS の根治）が行われた。	
1962	人工心肺を使用した第1例目の開心手術が行われた。	
1962	杉江三郎教授編集代表者となり北海道外科雑誌発刊。	
1969	鮫島夏樹講師が助教授に就任。	
1971	第14回日本乳癌研究会が杉江三郎教授会長のもとに開催。	
1971	救急部村上忠司助教授は新設の旭川市立病院胸部外科部長となり転出し後任に田辺達三講師が昇任し救急部副部長・助教授となる。	
1971	杉江三郎教授開講十周年記念祝賀パーティーを開催	

西暦	教室の出来事	その他
1971	第9回日本人工臓器学会が杉江三郎教授会長で開催。	
1972	第25回日本胸部外科学会が杉江三郎教授会長で開催。	
1972	第二外科より新設の国立旭川医科大学第一外科教授として鮫島夏樹助教授，同助教授には久保良彦助教授が着任。	
	第二外科助教授には田辺達三助教授が，救急部助教授には黒島振重郎講師が昇任した。	
1974	開講50周年記念式典及び祝賀会が開催される。	
1974	医局対抗野球大会で優勝を飾る。	
1974	第15回日本脈管学会が杉江三郎教授会長で開催。	
1976	第1回日本心臓血管外科学会が杉江三郎教授会長で開催。	
1976	文部省特定疾患研究に「大動脈炎症候群・バージャー病」田辺助教授，「特発性門脈圧亢進症磯松講師が選択された。	
1978	杉江三郎教授が北海道大学医学部附属病院長に就任する。	
1979	第79回日本外科学会総会が杉江三郎教授会長で開催。	
1980	杉江教授が最終講義「わが外科学の歩み」を行う。 第四代 田邊達三教授が就任。	
1980	磯松俊夫講師が助教授に昇任。 川上講師が救急部助教授に昇任。	
1981	橋本正人助手が助教授に昇任する。	
1983	静脈疾患研究会が田邊達三教授会長で開催。	
1983	橋本助教授による解離性大動脈瘤の実験的，臨床的研究が国際実験外科学会で最優秀賞を授賞する。	
1984	早坂講師が救急部助教授に昇任する。	
1984	開講60周年記念式典及び祝賀会が開催される。	
1986	安田講師が救急部助教授に昇任する。	
1988	日本門脈圧亢進症研究会が田邊達三教授会長で開催。	
1988	加藤紘之講師が助教授に昇任する。	
1989	新外来棟が落成する。 田邊達三教授が北海道大学医学部附属病院院長に就任。 第19回日本心臓血管外科学会が田辺達三教授会長で開催。	
1990	第90回日本外科学会総会が田辺達三教授会長で開催。 第31回日本脈管学会が田辺達三教授会長で開催。 会長講演「解離性大動脈瘤をめぐって」。 循環器外科が新設され，安田教授が就任される。	
1991	岡安健至講師救急部助教授に昇任する。 田邊達三教授が北海道大学医学部学部長に就任。	

西暦	教室の出来事	その他
1992	第二外科同門会報創刊。 第20回日本血管外科学会が田邊達三教授会長で開催。 佐久間一郎先生が救急部助教授に就任。	
1993	田邊達三教授が退官。最終講義「一外科医の歩み」。 第五代 加藤紘之教授が就任。	
1994	下沢英二講師が第二外科助教授に昇任される。	
1994	松居先生が循環器外科助教授に昇任される。	
1995	本原敏司講師が第二外科助教授に昇任される。	
1996	第3回日本門脈圧亢進症食道静脈瘤学会が加藤紘之教授会長で開催。	
1997	久保先生が旭川医科大学学長に就任される。	
1997	笹嶋先生が旭川医科大学第一外科教授に就任される。	
1998	近藤 哲先生が第二外科助教授に就任。	
1999	加藤教授が手術部部长に就任される。	
2000	加藤教授が北海道大学附属病院 副院長に就任。	
2000	奥芝俊一講師が第二外科助教授に昇任される。	
2001	加藤紘之教授が北海道大学附属病院長に就任。 第14回日本内視鏡外科学会が加藤紘之教授会長で開催。	
2003	第103回日本外科学会が加藤紘之教授会長で開催。	cDNA マイクアレイプロジェクトによる900例超の遺伝子発現データベースが完成。
2004	加藤紘之教授が退官となる。最終講義「癌外科のあり方をめぐって」。	
2004	第六代 近藤 哲教授が就任。	
2004	森川講師が助教授に昇任される。	
2004	開講80周年記念式典が行われる。	
2004	森川助教授が東京慈恵会医科大学外科学講座 呼吸器、乳腺、内分泌担当教授に就任。	
2006	近藤教授がヨーロッパ外科学会（ESA）で DP-CAR の治療成績を発表。 平野 聡 先生が腫瘍外科助教授に就任。	近藤教授がヨーロッパ外科学会（ESA）で DP-CAR の良好な治療成績を発表し、大変な反響となった。
2011	近藤教授 ご逝去。 第七代 平野 聡教授が就任。	
2014	ロボット支援胃切除術施行。	



初代教授 柳 壮一
1924年4月～1951年7月



柳壮一教授による実習風景



階段教室による手術実習の様子



第二代教授 奥田 義正
1951年10月～1961年3月



奥田教授就任当時のスタッフ集合写真



昭和29年医局忘年会



第三代教授 杉江 三郎
1961年8月～1980年4月



人工心肺の実験風景



第79回日本外科学会総会(会長 杉江三郎教授)を開催



僧房弁移植術の成功を報道する新聞各紙のスクラップ



第四代教授 田邊 達三
1980年9月～1993年3月



執刀にあたる田邊教授



田邊教授就任当時の医局会議



第90回日本外科学会総会（会長 田邊達三教授）を開催



第五代教授 加藤 紘之
1993年11月～2004年3月



加藤教授就任激励会



第103回日本外科学会総会（会長 加藤紘之教授）を開催



加藤教授退官日の医局集合写真（ネーム入りのグローブと帽子を贈呈した）



第六代教授 近藤 哲
2004年4月～2011年1月



近藤教授, カンファレンスの後で



近藤教授の手術指導風景



加藤名誉教授邸でのサマーパーティー 通称「実りの会」



第七代教授 平野 聡
2011年11月～現在



平野教授の手術風景



国際化に対応し留学生を
積極的に受け入れています



恒例の桜の下での医局スタッフ集合写真